

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.127)



三河港湾事務所だより



2018年1月号



新年のごあいさつ



三河港湾事務所長
平澤 興

新年、あけましておめでとうございます。
また、日頃より三河港湾事務所が実施しております事業に対し御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年4月に当事務所に着任して、初めての正月を豊橋で迎えました。穏やかな天候に恵まれた年の初めでしたが、やはり北西のからっ風は、前任地である常夏のマニラで3年間過ごした身には厳しいものがあります。

さて、そんな強風が吹く中ではありますが、三河港神野地区で整備を進めています耐震強化岸壁（水深12m）の工事も佳境を迎えています。本岸壁は、船が泊まる岸壁の延長不足や一般貨物と完成自動車の混在などの問題を解消し、港の機能をより一層高めるとともに、万が一の災害発生時には、物資の受け入れ拠点として、また背後企業の早期の事業再開の拠点としても機能するものです。いよいよ本年、完成を迎えます。最後まで気を引き締めて事業を進めてまいります。

また、衣浦港においても、岸壁の老朽化対策を鋭意進めているところです。

改めて申し上げるまでもなく、三河港、衣浦港は、地域の経済を支える生産活動の拠点であり、我が国の経済発展・成長実現に必要不可欠な港湾です。本年も引き続き、施設整備やソフト・ハード両面からの総合的な防災・減災対策などを、皆様とともに着実に進めてまいります。

今後とも、皆様のお役に立てる港づくりに向けて事務所一丸となって取り組んでまいります。引き続きよろしくお願い申し上げます。



アフリカの発展のため国際協力に貢献 ～JICA研修員が三河港を視察しました～



平成29年11月15日（水）・16日（木）に、JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施している「港湾物流効率化（アフリカ地域）研修」で来日しているアフリカ地域の7カ国、計11名の研修員が三河港及び名古屋港を視察しました。

三河港では、ポートインフォメーションセンター「カモメリア」にて、展望台より三河港を見学するとともに、三河港の貨物取り扱い状況や港湾施設等のインフラ整備状況、三河港の魅力などを紹介しました。また、ボルボ・カー・ジャパン（株）の新車整備センターを見学し、三河港での輸入完成自動車の効率的な輸送・管理の様子を視察しました。



ボルボ・カー・ジャパン（株）の見学



カモメリア展望台より三河港を見学

研修員の方々は、港でどのような貨物が扱われているか、どのような荷役がされているか、資金調達の方法、施設運用形態、その効率性などに関心をもたれており、熱心さが伝わってきました。

《参考：研修員の出身国【7カ国、11名】》 ※（ ）内の数字は研修員の人数
コートジボワール共和国（1）、コンゴ民主共和国（1）、セネガル共和国（2）、
タンザニア連合共和国（1）、ペナン共和国（2）、南スーダン共和国（2）、
モザンビーク共和国（2）（国名五十音順）



三河港振興会蒲郡地区委員会防災部会総会

平成29年12月22日（金）に、蒲郡市民会館において、平成29年度三河港振興会蒲郡地区委員会防災部会総会が開催されました。

総会の中で、当事務所長の平澤より「港湾における防災に関する最近の政策動向」と題しまして、2030年頃の将来を見据えた経済・産業の発展や国民生活の質の向上のために港湾が果たすべき役割や、今後特に推進すべき港湾政策の方向性等について、議論を進めている「港湾の中長期政策『PORT2030』」や、港湾における高潮対策を進めるため検討を進めている「港湾の堤外地等における高潮リスク低減方策ガイドライン」等について、説明させていただきました。

また、愛知県三河港務所の山田所長より三河港における高潮リスクとBCPの取り組みについて、豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンターの加藤教授より過去のデータに基づく三河湾における高潮の発生状況等について、講演がありました。

当事務所では、国土交通省での防災に関する政策の情報提供、防災・減災に対する取り組みへの支援を引き続き積極的に行っていきます。

※「港湾の中長期政策『PORT2030』」に関する報道発表資料

http://www.mlit.go.jp/report/press/port03_hh_000037.html

※「港湾の堤外地等における高潮リスク低減方策ガイドライン」に関する報道発表資料

http://www.mlit.go.jp/report/press/port07_hh_000101.html



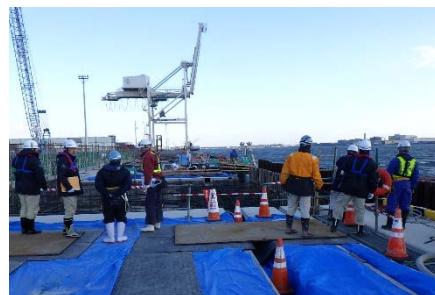
講演の様子

工事安全パトロールを実施しました

平成29年12月25日（月）、三河港神野地区の耐震強化岸壁（水深12m）の工事安全パトロールを実施しました。

安全パトロールとは、労働災害の予防のため、不安全な行動や危険箇所がないかを工事現場の作業状況を見回り、気になった点を指摘し、必要であれば安全対策の改善を求めるものです。今回の安全パトロールは、受注者が組織している三河港工事安全連絡協議会に我々職員も参加して実施しました。

当日はクレーン車による型枠組立やバックホウによる土砂掘削などの作業が行われており、その作業状況や資材置場の整理状況などを確認しました。



パトロール中の様子



パトロール後の意見交換

これから冬季風浪の影響により、クレーン災害や転落災害の発生も懸念されます。今まで同様に本パトロールを月1回定期的に実施するとともに、引き続き工事現場の安全対策強化に取り組んでまいります。



三河港湾ギャラリー



作品No.57 初日の出 -佐久島にて-

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00

（土・日・祝祭日を除く）

※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1

TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地

TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>